

News Letter

神奈川県聴覚障害者福祉センター

きこえ支援情報館

発行/2021年8月1日 神奈川県聴覚障害者福祉センター補聴相談室 文責 大本純子

No.7

第4回コミュニケーション講座

7月10日(土)に開催しました。テーマは、手話(入門)。神奈川県中途失聴・難聴者協会の会員古川実利氏に講師を担当していただきました。本間美菜子氏にはアシスタントとして、わかりやすい手話表現をしていただきました。

内容は、基本的な挨拶、応答のしかた、質問のしかたなど、語源を含めて説明していただきました。

会場とオンラインでの併用開催でしたが、みなさんに自己紹介もしていただきました。

初めての方は、なかなか一度では覚えられないと思います。繰り返し繰り返しやってみることが大事です。参加者の手話レベルも多様なので、既に手話を学んでいる方には、少し簡単に思われたかもしれません。でも、復習になりますし、手話は使わないと忘れます。

補聴相談室から

補聴器の調整あれこれ

～外耳道共鳴を考慮して～

耳の穴から鼓膜へと続く道を外耳道と呼びます。外耳道は、通常、片側(鼓膜)は閉じていて、耳の穴は開いている管と考えられます。そんな管に入ってきた音は、通常、共鳴します。平均的な大人の外耳道の長さを約3cmとすると2800Hzくらいの音が共鳴します。そのあたりの音が大きく聞こえるということです。これは、ことばの子音をききとるのに役立ちます。しかし、補聴器を使う時に耳栓やイヤモールドを入れると塞がれることになり、2800Hzの共鳴がなくなり、平坦な音に聞こえるようになります。そこで、補聴器などの調整は、その方の聴力にもよりますが高域を増幅することが多いです。



今年も花火は見られそうにないですね(；_；)

どんどん、手話を使う場としてもご活用ください。このあとも2回続けて手話(入門)です。



第5回コミュニケーション講座のご案内

日時8月7日(土)10:00～12:00

テーマ:手話入門(2)

講師:神難聴 古川実利氏

<https://forms.gle/NKUA2aBqZKkaB63HA>

にアクセスするか、上のQRコードでも申込できます。



第2回難聴者サロンのお知らせ

日時:令和3年9月26日(日)10:00～12:00

会場:聴覚障害者福祉センター大講習室

ZOOMを用いたオンラインでも同時開催する予定です。(但し、コロナの状況によっては、会場に参集できない場合があることをご了承ください)

対象は、おおむね50代くらいまでの同障者と交流を希望する方。難聴者サロンは、難聴当事者同士の交流、情報交換などを目的としています。肩の力を抜いて、気軽に話せる場にしたいと思っています。要約筆記という文字通訳もありますので、安心してご参加いただけます。

きこえにくいことを周りにどうやって

伝える?最近、みんな、マスクしているから、ますますききとりにくいよね!こんな時、どうしてる?リラックス方法は?趣味は何?おススメのお店はある?など、なんでも、日ごろ思っていることをざっくばらんに話してみませんか!



当センターの事業についてのお問い合わせは

電話(0466)27-1911/FAX(0466)27-1225

メール soudan@kanagawa-wad.jp 担当 大本